

文京区発!自然観察会
小石川植物園 秋の親子自然観察会
2023年10月29日(日) 曇り

参加者：子ども 25名、保護者 18名
NACOT：川上、中村、竹下、古川、菅沼、観世、福永、小林(玉)、
近藤、小林(光)、堀内、松岡、井上、櫻井、加藤、田邊 (報告：近藤)

8月のセミの抜け殻しらべに続き、秋の観察会にも参加させていただきました。天気が心配された当日でしたが、スタッフ集合時間の9時には雨が止み、昼にかけて徐々に晴れて気温も上がっていききました。朝は気温が低く、子供達の中にはフリースの上着を着ている子もいて、秋から冬への移ろいを感じました。1週間前に下見に行った時は、蚊が多くてどうしようと思いましたが、本番はそれほど気にならなかったです。



私は5班の担当で、2家族ほどキャンセルが出たので1家族のみで園内を回りました。虫が大好きなお兄さんと、虫以外に植物にも興味がある妹さんの兄弟で、とにかく元気に楽しんでくれました。お母様は、小学校のプリントで観察会を知り、夏には落選したが今回は当選して嬉しかったと、NACOTの他の活動にも興味をもってくださいました。

観察会で印象的だったのは、子供たちが、観察した生物をノートに絵を描いて記録していたこと

です。写真を撮ることも重要ですが、小さい子にはまだカメラの操作が難しいので、ノートと鉛筆さえあれば記録ができるこの方法は良いかと再認識しました。スケッチすることでじっくり生物を観察できるので、特徴を捉えるのに良いですよ。私も見習おうと思いました。

途中、妹さんとお母様と私でトイレに行ったのですが、トイレ前にジョロウグモの巣があり、一緒にミニ観察会をしました。下見のときに川上さんに教えていただいたジョロウグモの知識を話したら、すごく興味をもって聞いてくれて嬉しかったです。他にも、カマキリの卵や色付いた落ち葉、赤いカラスウリの実、落ち葉の下のコガネムシの幼虫など、秋ならではの生き物の姿を、子供達が見つけてくれました。

本当に虫好きな兄弟で、最後まで飽きることなく、もっと回りたい!という気持ちがありがたかったです。大人達を気にせず、観察に没頭する姿に感動しました。これからも、小石川植物園のような、身近で自然を楽しめる場所で、たくさん観察をして自然を感じてほしいなと思いました。

